

なんでもインフォ

～干支について～

2020. 12

はじめに

年末時期は新しい年を迎える準備に忙しくなりますね。年賀状や来年の運気などで、この時期来年は何年だっけ？と干支をチェックされる方も多いのではないでしょうか。来年2021年は「十二支」では「丑年」。「干支」では「辛丑（かのとうし）」だそうです。しかしながら・・・かのとうし？と、干支について自分自身よくわかっていないことに気づきましたので調べてみました。

干支って？

干支は「十干（じっかん）」の「干」と「十二支」の「支」を組み合わせたもので60通り、つまり60年で一巡する形であるそうです。

◆十干（10種類）

甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸

◆十二支（12種類）

子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥

と、ここまでは理解できましたが十干が10種類で十二支が12種類で60通り？？？10 x 12＝120通りではないのか？！と、疑問が生まれました。調べてみると、積ではなく最小公倍数であるという記述もあったりと、なぜ最小公倍数なのかが良く分かりませんでした。

なので、検証を行ってみました！

検証

1. 条件を整理してみる

①十干は10種類である。

甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸

②十二支は12種類である。

子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥

③干支は甲子から始まり癸亥の60通りである。

2. 組み合わせを整理する

Excelで＝十干＆十二支で組み合わせを計算し、書式を使用して③の60通りの干支にヒットした組み合わせを黄色でハイライトさせました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1		十二支	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2	十干		子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
3	1	甲	甲子	甲丑	甲寅	甲卯	甲辰	甲巳	甲午	甲未	甲申	甲酉	甲戌	甲亥
4	2	乙	乙子	乙丑	乙寅	乙卯	乙辰	乙巳	乙午	乙未	乙申	乙酉	乙戌	乙亥
5	3	丙	丙子	丙丑	丙寅	丙卯	丙辰	丙巳	丙午	丙未	丙申	丙酉	丙戌	丙亥
6	4	丁	丁子	丁丑	丁寅	丁卯	丁辰	丁巳	丁午	丁未	丁申	丁酉	丁戌	丁亥
7	5	戊	戊子	戊丑	戊寅	戊卯	戊辰	戊巳	戊午	戊未	戊申	戊酉	戊戌	戊亥
8	6	己	己子	己丑	己寅	己卯	己辰	己巳	己午	己未	己申	己酉	己戌	己亥
9	7	庚	庚子	庚丑	庚寅	庚卯	庚辰	庚巳	庚午	庚未	庚申	庚酉	庚戌	庚亥
10	8	辛	辛子	辛丑	辛寅	辛卯	辛辰	辛巳	辛午	辛未	辛申	辛酉	辛戌	辛亥
11	9	壬	壬子	壬丑	壬寅	壬卯	壬辰	壬巳	壬午	壬未	壬申	壬酉	壬戌	壬亥
12	10	癸	癸子	癸丑	癸寅	癸卯	癸辰	癸巳	癸午	癸未	癸申	癸酉	癸戌	癸亥



なんだか、綺麗に交互に色づきました。
60通りなのは確認できましたが、
なぜ120ではなく60なのかが分かりません。
これでは自分の求める解を導き出すのは
違う感じがしてきました。



次に、干支の特性として
★十干と十二支の「**組み合わせである**」
★60年周期で一巡する
であることに着目して、表の体裁を変えて検証しなおしてみました。

周期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
十干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
十二支	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯
9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4

41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

十干と十二支で数が異なるため、十干が1巡毎に十二支との差分だけ2・4・6・8と、ずれていくのが分かります。そして十二支が5巡した60年周期で十干と十二支ともに最初の「甲子」の組み合わせに戻るのを確認できました！

ここまでくると積ではなく**組み合わせ**であり、10と12の**最小公倍数**というのもよく理解できますね。



さいごに

得た情報を基に、自分自身で干支の言葉の意味、組み合わせを整理して検証を行ったことで自分なりに理解を深めることが出来ました。現代は何でもインターネットで検索することができて非常に便利ですが、それゆえに自分で考える・理解するというICTリテラシーも同時に求められるものと考えます。また諸説あるようなものについては絶対的な解が存在しないものもあることを理解したうえで、自分なりの仮説を立てながら検討することも大事だと実感しました。

「辛丑」は新しく芽が生まれようとしている状態なのだとか。下から上に向かうイメージがあるそうなので2020年コロナによって世界が変わった状況を経て2021年なにか変わっていこうとしているのかもしれません。変化の時代だからこそ、情報が示す意味については気を配りたいですね。

発 行　株式会社 昭和土木設計　岩手県矢巾町流通センター南4丁目1−23
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

弊社は道路・河川・橋梁等の計画・設計、BIM/CIM、i-Construction、GIS、ITソリューション等の業務を行っております。
”なんでもインフォ“のバックナンバーは　https://showacd.co.jp をご覧ください。

作成者：ICT推進室　藤原